

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

No	交付対象事業の名称	事業内容（目的・効果）	事業の対象	事業実施状況	効果・評価 今後の方向性	経済対策との関係	事業 始期	事業 終期	総事業費	地方創生 臨時交付金 充当	国庫補助金 等	一般財源	担当課
1	新型コロナウイルス感染対策事業	新型コロナウイルス感染防止のための感染症対策品を整備。 感染拡大防止を図る。	住民 村内4診療所	マスク購入 3,000枚 : 652,340円 消毒薬購入 70本 : 521,352円 防護服等購入 300枚 : 1,744,471円 布マスク(住民配布) 3,000枚 : 1,980,000円 自動手指消毒噴霧器 90個 : 334,400円	各地区における感染予防に寄与した。また、感染症対策品等を事前に準備し、診療所職員のみではなく、関係職員と意思統一を図ることができた。今後も、感染予防について住民へ一層の周知を図っていく。	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.4	R4.3	5,232	5,232			民生課
2	学校における新型コロナウイルス感染防止事業	学校における感染防止のためのマスク、消毒薬等の整備。 学校内における感染拡大防止を図る。	村内学園 (児童生徒、教職員等)	村内4学園において、感染予防品のマスクや消毒薬、ハンドソープ等を購入。 マスク購入 81,510円(21箱) 消毒薬購入 88,302円 ハンドソープ 27,533円	各学園における感染予防に寄与した。今後も児童生徒、教職員の感染予防対策に努める。	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.4	R3.3	197	197			教育委員会
3	疑似感染者対策事業	疑似感染者の往診並びに本土への搬送用並びに消毒用機材整備、本土での滞在費用	村内4診療所	トランスバッグ購入 1セット : 310,750円 ストレッチャー購入 2台 : 475,200円 高圧蒸気滅菌器 2台 : 741,400円 滞在費用 : 330,550円 巡回診療・搬送用車両購入 4台 : 5,220,000円	感染者発生した際の備品等を事前に準備し、あわせて本土への搬送方法等の確認を行うことができた。今後も、感染拡大防止に努め、感染者への対応を行っていく必要がある。	I-3. 医療提供体制の強化	R2.4	R4.3	7,078	10,708			民生課
4	しおかぜ留学生感染確認事業	県内外から受け入れているしおかぜ留学生の長期休暇終了後、帰島する前の感染確認のための滞在費用、並びにPCR検査受診	しおかぜ留学生・保護者	しおかぜ留学生滞在費用 旅費 : 1,509,566円 食料費 : 51,293円 PCR検査代 : 168,300円	事前に感染確認を行うことで、島内での新型コロナウイルス感染予防に努めた。今後も新型コロナウイルスを島内へ持ち込まない対策に努める。	I-5. 帰国者等の受入れ体制の強化	R2.4	R4.3	1,729	1,729			教育委員会
5	地域環境整備事業	新型コロナウイルスによる収入機会の減による雇用対策事業により、収入確保を図る。	村民	村内の村道・林道・遊歩道の除草伐採を実施。 道路・森林等の除草・清掃等にかかる作業員(住民)報酬 道路:6,400円/人・日×602.525人=3,856,160円(時間給含む) 森林:6,400円/人・日×44人=281,600円 道路清掃委託 1,012,000円	収入を得る機会が減少しており、村内の伐採作業を実施することで、少しでも収入を得る機会を設けることができた。	II-1. 雇用の維持	R2.7	R3.3	5,149	5,149			経済課
6	コロナウイルス侵入防止協力金給付事業	県外客の来島自粛により影響を受けた村内事業者に対して協力金を給付する。	村内事業者	事業者継続支援給付金 2事業者 600,000円 協力金 14事業者 1,025,000円	16事業者へ1,625千円の給付金・協力を給付し、新型コロナウイルスで影響を受けた事業者の支援を行った。今後も感染症拡大の動向に注視し、事業者継続、景気回復への対策を検討する。	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R2.4	R4.3	1,625	1,625			定住促進課
7	安全安心避難所事業	本村は台風などの自然災害の多い地域であり、避難所へ避難してくる住民は多い。密集した空間であり、感染防止対策が必要である。しかしながら、避難所は狭いことから、感染防止対策用の資材並びに非常用備蓄品のための倉庫を整備する。あわせて、強化ガラスのみの避難所に雨戸を設置し、窓のそばまで空間を活用できるよう整備する。	住民	簡易間仕切り 6,578円×10個×4地区 段ボールベッド 7,590円×5個×4地区	避難所での感染症対策として備品を整備し、コロナ禍にける避難所の準備をすることができ、避難所での感染防止につなげることができる。	I-5. 帰国者等の受入れ体制の強化	R2.6	R4.3	415	415			総務課

No	交付対象事業の名称	事業内容（目的・効果）	事業の対象	事業実施状況	効果・評価 今後の方向性	経済対策との関係	事業 始期	事業 終期	総事業費	地方創生 臨時交付金 充当	国庫補助金 等	一般財源	担当課
7	島外からの移動者安心事業	県外等からの来島者・帰島者に対し、感染確認を実施し、村内へコロナウイルスを持ち込まないようにする。	来島者・帰島者	村内にコロナウイルスを持ち込まないように、入島前に本土に滞在し、感染確認を実施。 島外での滞在する宿泊費等 474,250円 (大人6名、小学生1名、未就学1名)	事前に感染確認を行うことで、島内でのコロナウイルス感染予防に努めた。今後もコロナウイルスを島内へ持ち込まない対策に努める。	I-5. 帰国者等の受入れ体制の強化	R2.4	R3.3	474	474			総務課
8	ALT(外国語指導助手)派遣事業	コロナウイルスの影響により新たなALTを招致することができず、現在村教育委員会常駐のALTを他校へ派遣し、児童・生徒の学習機会を確保する。	村内学園 (児童生徒、教職員等)	村教育委員会常駐のALTを村内4学園へ派遣した。 ALT旅費 1泊2日 16,820円×2回 2泊3日 25,320円×8回 3泊4日 33,820円×2回	教育委員会常駐のALTを派遣し、児童生徒の学習機会を確保することができた。今後も臨機応変な対応により、子どもたちの学習機会を確保するように努める。	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R2.9	R3.3	304	304			教育委員会
9	学校の臨時休校に伴う補完事業	コロナの影響による臨時休校のため学習機会が減少していることから、長期休暇を短縮し、学習の機会を確保するとともに、学校給食を実施することで児童生徒の様子を確認し、併せて保護者の負担軽減を図る。	村内学園 (児童生徒、教職員等)	長期休暇を短縮し、学習の機会を確保するとともに学校給食を提供した。 食材代 154,486円 給食調理人報酬 65,600円 (800円/時×82時間:6名分)	コロナの影響による学習機会の減少を長期休暇を利用することで確保することができた。併せて、学校給食を提供することで児童生徒の健康を確認することができた。今後もあらゆる機会を通じて学習機会を確保し、併せて児童生徒の体調確認を実施していく。	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R2.7	R2.8	220	220			教育委員会
10	水際対策事業	離島である本村にコロナウイルスを持ち込まないようにするため、出港前(7:30~9:30)及び本庁来庁者の健康観察(問診・検温等)を実施。また、住民等の体調管理の徹底。	住民 来庁・来島者	村内へウイルスを持ち込まないための対策経費 出港前の健康観察にかかる職員の時間外勤務手当 16名 652,661円 出港前の健康観察にかかる健康チェック委託 390,154円 サーマルカメラ購入 @509,300円/台×2台 健康記録手帳 @319円×2,000冊	島内へコロナウイルスを持ち込まないようにするための健康チェックの体制を確立できた。また、健康記録手帳により体調管理を実施することで、住民の感染予防の周知を図ることができた。今後も、健康チェックと住民自らの健康チェックで感染防止に努める。	I-2. 検査体制の強化と感染の早期発見	R2.4	R4.3	2,699	2,699			民生課 総務課
10	生活環境整備事業	硫黄島城ヶ原地区の水需要は、農業用水が主であることから現在、滅菌されていない水が供給されている。しかし、同地区内には薩摩硫黄島飛行場があり、空の玄関口となっている。政府が示す『新しい生活様式』における手洗いの励行を実現し、ウイルスを村内に持ち込まないよう感染対策を図るため、滅菌器、貯水槽、テレメーターを設置する。	村民 観光客	水質改善に各機器等の整備 滅菌器・テレメータ整備 5,104,000円 貯水槽整備 3,740,000円	島内どこでも手洗いの励行を実現することができ、感染拡大の抑止につながれるよう環境を整備できた。今後も政府が示す『新しい生活様式』における手洗いの励行をすすめていく。	I-5. 帰国者等の受入れ体制の強化	R2.10	R3.3	8,844	8,844			民生課
11	観光プロモーション・おもてなし向上事業	新型コロナウイルスの影響により開催が困難となっているジオパークガイド養成講座をWEBでも開催する。また、コロナ終息後の本格的な観光振興に備えてニーズ調査とリモートツアーやPR動画撮影等に必要な機材を整備する。	村民 ジオガイド 観光客	動画制作、web会議に係る経費 観光リサーチ業務委託 180,400円 プロモーション動画制作業務委託 611,952円/3本 SNSコンサルティング業務委託 198,000円 動画出演者謝金 20,000円×4日 動画出演者費用弁償 1泊2日 28,860円×1回 2泊3日 40,860円×1回 ロケ時漁船チャーター料 50,000円 リモート用PC 444,400円 タブレット端末 @41,800円×8台 デジタルカメラ 189,750円 ハンディカメラ 76,340円/台×2台 動画撮影機材及びタブレット周辺機器 444,180円 消耗品 14,531円	WEBを活用したジオパーク活動を中心とした動画制作及び情報発信に取り組んだ。引き続き、動画コンテンツ及び整備した機器を活用して積極的に情報発信に努めジオパーク活動の活性化と観光交流人口の増加を図っていく。	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	R2.10	R3.3	2,770	2,770			定住促進課

No	交付対象事業の名称	事業内容（目的・効果）	事業の対象	事業実施状況	効果・評価 今後の方向性	経済対策との関係	事業 始期	事業 終期	総事業費	地方創生 臨時交付金 充当	国庫補助金 等	一般財源	担当課
12	地域の新しい 取り組みへの 支援事業	新型コロナウイルス感染症収束後に備え、地域経済の維持、活性化を目的として、地域の特産品・サービス開発に関して、団体・個人のチャレンジ支援のため奨励金を給付。やりたかったことを実現させるきっかけを作る。 公募型 団体 上限 500,000円 個人 上限 250,000円	村内事業者 住民	チャレンジ補助金 3件 1,229,717円	3件1,229千円のチャレンジ補助金を給付し、コロナ収束後を見据えた住民等へのチャレンジを支援した。 今後もコロナ収束後に備え、住民等のやる気の醸成を図っていく。	Ⅱ-2. 資金 繰り対策	R2.10	R4.3	1,229	1,229			定住促進課
12	3密対策事業	自然災害等の避難において、狭い避難所に3密を防止しながら避難できる住民は限られている。特別警報級の災害等が予想される場合、3密を避けるため本土へ避難し、宿泊施設へ滞在することで、コロナウイルス感染を予防する。	村民	台風避難時の滞在費用 宿泊施設使用料 6,050円/泊×5泊×58名	大型の台風接近に伴い、島外避難を実施し、狭い避難所での3密を防止できた。今後も、島内での避難所での状況をみながら、島外での避難も考慮し感染拡大防止に努める。	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.9	R3.3	1,754	1,754			総務課
13	学校保健特別 対策事業費補 助金	学校再開に際して、感染症対策を徹底しながら児童及び生徒の学習保障をするため、学校教育活動の再開を支援する。	村内学園 (児童生徒、教職員等)	学校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう学校教育活動の再開を支援する経費に対して補助を行う。 各学校への補助 竹島学園： 1,999,978円 硫黄島学園： 1,999,966円 大里学園： 1,999,768円 片泊学園： 1,999,828円	各学校における感染対策に必要な物品を整備することができた。 今後は、学校内での感染防止に努める。	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	R3.2	R3.3	7,999	3,999	4,000		教育委員会